

はにい

全校ワークショップ

平成24年10月18日

生徒会主催、全校生徒280人によるワークショップが始まりました。



今日のテーマは「いじめ根絶」。

数十枚の模造紙それぞれに、1年生から3年生までが混成グループで座っています。全員がペンを持ち、キーワードを書きながらの対話です。

15分深め合ったら、席替えをして違うメンバーで話します。そしてまた15分したら席替え。今日は15分×3ラウンドの対話が行われました。

「人のことを『ヘン!』って言うのはさあ、自己中なんだよね。」

「どういうこと？」

「自分は普通だと思っているわけでしょ。」

「でもさあ、他の人も自分を基準にして人のこと『ヘン』

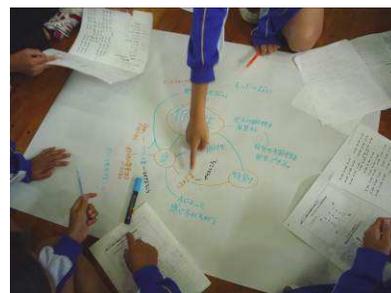
って思ってるんだよね。」

「お互いさまってこと？」

「『ヘン』っていうのは個性だからさあ。」

「ああ、個性は認め合わなくてはいけない。」

「つまり、人はみなヘンじゃないとおかしい、ってことだ。」



1年生も2年生も3年生も一つのテーマに集中して一緒に対話しています。学年を超えて全校でのワークショップができてしまう。この学校では、普段、どのような活動をしているのでしょうか。

この学校の生徒会が先日行った「We are smile 運動『心を磨く』」を紹介します。

これは、他の学年の教室にお邪魔して、机と椅子を磨く、ただそれだけの活動です。全校一斉に時間を決めてやります。

学級単位で、1年生は2年生の、2年生は3年生の、3年生は1年生の教室に行きます。

机の天板を磨き、脚の埃を取り、脚の裏まで磨きます。

そして、ひとこと、その机の持ち主へメッセージ。付箋紙に書いて貼って帰ります。名前は書きません。



さて、自分の教室へ戻ってみると、ピカピカに磨かれた自分の机が待っていました。自分

が描いたちょっとお気に入りの落書きまで消されています。そこに、誰からかわからない小さなメッセージが貼ってあります。

「受験がんばってください！ずーっと応援しています。fight!」

その付箋紙を、お返事カードに貼り、返事を書きます。でも差出人はわからないので、全員のお返事カードは、昇降口前の階段に貼りだされました。

「机の落書き、消してくれてありがとう。ず————っと応援よろしくね！」



さて、全校ワークショップに戻りましょう。



会の最後は、生徒会本部のファシリテートで、全校での対話の時間になりました。

ワークショップの中で学んだこと、感じたことを280人で語り合います。発言者は正面の大きなスクリーンに映し出されています。

「普通の人なんていない、ということなんです。みんな、個性がある。だから面白いんだ、ってことなんですよ。」

学年を越えての真剣な対話の時間。日々の子どもたちの活動が可能にした時間です。

教室に戻って書いた感想の中に、こんな子もいました。

- ・自分だけが「ヘン」なのではなく、みんな誰もが「ヘン」なので、少しだけ自分に自信がもてました。

かながわ元気な学校づくり通信 『はにいい』とは、
学校が元気になるように・・・

先生の仕事を受けて

学校に携わる大人たちがしていることを受けて

そして、もちろん子どもたちの育ちを受けて

そんな、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp